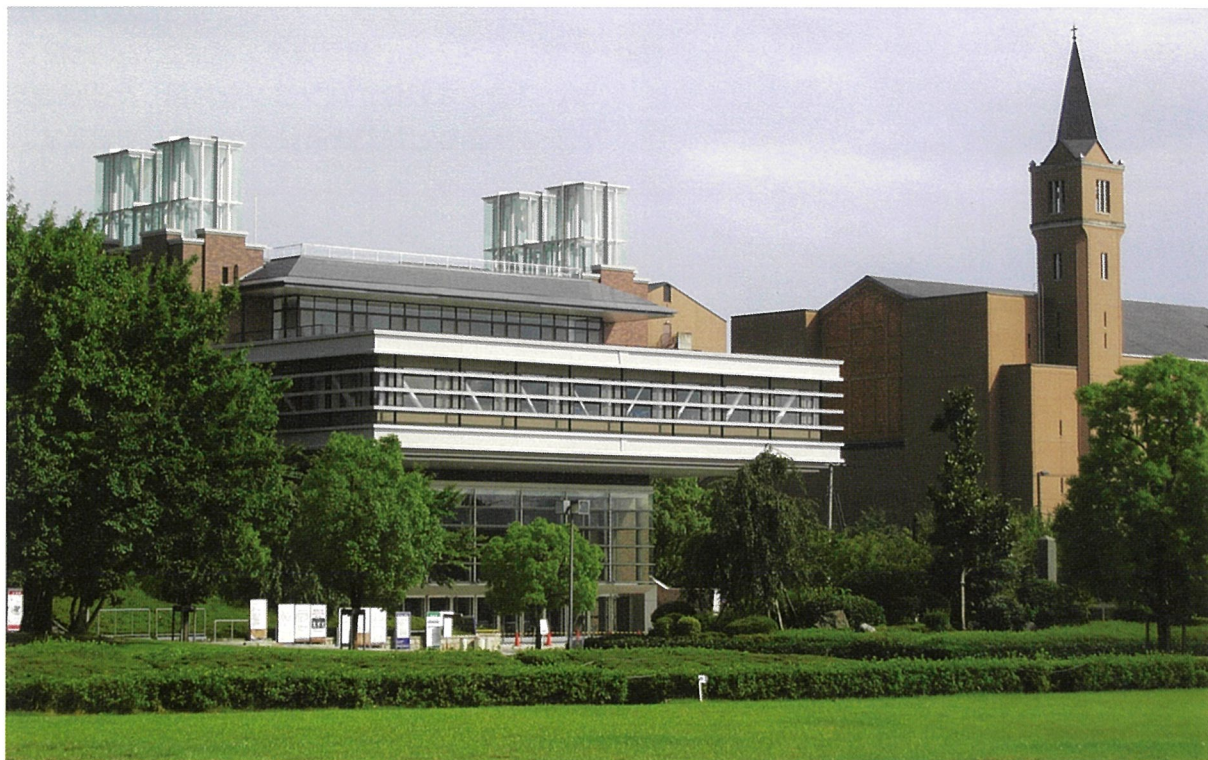


Doshisha University

総合情報センター報

2003.9 No. 26



CONTENTS

■ 京田辺校地に新たな情報環境がオープン!	1	■ 所蔵資料紹介: Les Français peints par eux-mêmes (『フランス人の自画像』)	8
京田辺校地にマルチメディアコンテンツ作成施設が誕生	2		
情報メディア館がオープンしました	4	■ マルチメディア・ライブラリーのPCをリプレースしました!	10
■ 秋学期からの情報環境(京田辺校地)について	4	■ 今出川図書館の改修について	11
■ PCの利用環境を一斉更新しました	6	■ 総合情報センター利用上の注意	11
■ ネットワークシステムのリプレース	7	■ 2003年度 総合情報センター 開館開室時間一覧(秋学期)	12

京田辺校地に新たな情報環境がオープン!

京田辺校地に「情報メディア館」「ローム記念館」がオープンしました。9月25日のオープニングセレモニーに続き、26日から一般利用の開始となりました。これらの施設は、京田辺校地における情報分野の教育・研究活動の一大拠点として新たな可能性を生み出していくことを目的として作られたもので、これからも更なる進化を続けていきます。

情報メディア館には情報処理実習教室15室とオープン利用環境1箇所、他に遠隔講義室や無線LANによる利用環境が導入された情報道場、演習室が整備されています。利用環境の多彩さもさることながら、規模としても情報メディ

ア館のみで約900台のPCが設置されています。情報教育やメディアリテラシー習得の場として、質・量ともに十分な環境が整いました。

ローム記念館グランドフロアには、「マルチメディアラウンジ」が新設されました。ここでは、従来は今出川校地でしかできなかった、パソコンを用いた静止画・動画像編集、デジタルビデオの編集など、マルチメディアコンテンツの作成等に必要な最新の設備が整えられています。また、教員や大学院生だけでなく、学部生の皆さんも自由に利用できます。

京田辺校地に マルチメディアコンテンツ作成施設が誕生

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/media/lounge/index.html>



ローム記念館グランドフロアに「マルチメディアラウンジ」がオープンしました。

マルチメディアラウンジは、京田辺校地におけるマルチメディア利用環境の拠点となる施設であり、スタジオ収録、パソコンを利用した画像編集、ビデオ編集などができる設備を用意しています。

利用について

利用目的は、教育・研究に限られていますが、以下のいずれかに該当する方であれば、どなたでもご利用いただくことが可能です。

■ 利用者

- (1) 学校法人同志社 法人内諸学校専任教職員
- (2) 学校法人同志社 法人内諸学校学生・生徒
- (3) プロジェクトメンバー

■ 利用時間

月～金：9:00～19:00 土：9:00～17:00

※休講期間は変更があります。

「操作が難しいのでは」という心配はご無用です。マルチメディアラウンジでは、初めてマルチメディアを体験する利用者のために、技術を持った学生をサポート要員として配置し、カウンターではソフトの簡易マニュアルも配布しています。お気軽にご利用ください。

利用上の注意

利用に際しては、ダビングやDVD作成等に必要の記録媒体（ビデオテープ、CD-R、DVDなど）は、利用者ご自身でご用意ください。また、パソコンをご利用の場合、パソコンのハードディスク上にデータを残しておくことはできません。

マルチメディア編集エリア

マルチメディア編集エリアには12台のWindowsパソコンと8台のMacintoshを設置しており、静止画編集、動画編集など、多様なマルチメディアコンテンツの作成が可能です。また、スキャナや液晶タブレットなどの周辺機器も充実しており、プリペイドカード方式のカラーレーザープリンタも設置しています*。



* マルチメディアラウンジに設置しているカラープリンタのプリント料金は、A4が1枚40円、A3が1枚80円となっており、支払いは大学生協のプリペイドカードで行います。情報処理実習教室等のカラープリンタとは支払方法が異なりますので、ご注意ください。

スタジオ

133㎡の広さを持つスタジオには2台のデジタルビデオカメラを設置しており、移動可能な調整卓（照明や機器の制御を行う操作卓）を用いてスタジオの内外からオペレーションを行うことができます。また、人物の背景に画像を合成する「クロマキー処理」という特殊効果も可能ですので、講義用教材やゼミ等でのプレゼンテーションの収録など、幅広くご利用いただけます。



ビデオ編集エリア

様々なメディアの録画・ダビング・編集などを行うことができるビデオ編集エリアには、各種方式に対応したダビングシステムを設置しています。ここではVHS、D-VHS、S-VHS、Hi-8、miniDV等各種フォーマットの相互変換ができるだけでなく、海外のビデオ信号（PALなど）を日本のビデオ信号（NTSC）に変換することも可能です。また、DVD/LD/CDプレーヤーやMDプレーヤー、カセットテープレコーダーも備えていますので、様々なメディアをご利用いただけます。

さらに、ポータブルエディティングレコーダではminiDVの簡単な編集が、またDVDオーサリング専用機ではご自身で撮影・編集された映像をDVDに仕上げることもできます。



メディア演習エリア

メディア演習エリアでは、マルチメディアラウンジ内の機器を利用しながら演習を行うことが可能です。床面には情報コンセントとAC電源を設置していますので、ノートパソコンの持ち込みにも対応しています。また、ビデオプロジェクタと各種AV機器を装備したマルチメディアワゴンや電子ホワイトボードも用意していますので、それらを利用したプレゼンテーションなども行っています。



ローム記念館には、マルチメディアラウンジのほかにも、学校法人同志社内の諸学校の誰もが利用できるマルチメディア施設を備えています。

また、プロジェクトルームを設け、本学と女子大学を始めとする法人諸学校の学生・生徒、教職員、学外の法人・企業のスタッフが集い、「マルチメディア」や「情報」をキーワードとした新しい取り組み（プロジェクト）を行う環境を整備しています。

詳細については、同志社ローム記念館のホームページをご覧ください。

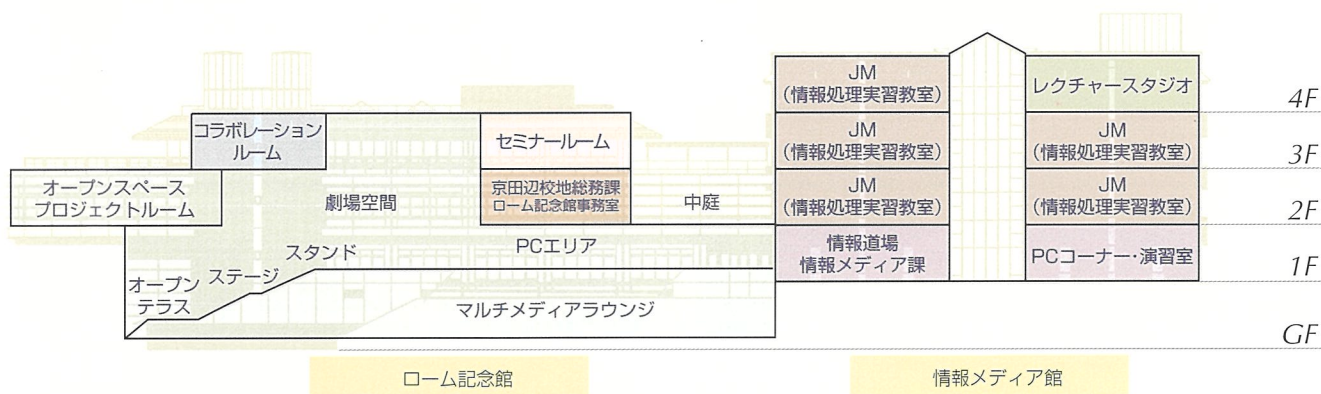
<http://rohmdrm.doshisha.ac.jp/>

情報メディア館がオープンしました



情報メディア館は京田辺校地の情報教育の拠点となる情報環境で、情報処理実習教室が15教室、オープン利用環境が1箇所整備されています。その他に「遠隔講義室（レクチャースタジオ）」やゼミなどで利用可能な「演習室」「情報道場」が整備されています。その中でも常識を覆す和風の情報環境として、「情報道場」が整備されています。情報道場は、寺子屋をイメージして創られた畳敷・土間・板間風の3教室で構成されており、無線LANを利用した情報環境となっています。

情報メディア館に隣接したローム記念館にも、1階にオープン利用環境の「PCエリア」を整備しています。プリンタは設置されていませんがメールやWebの閲覧、Officeソフトなどの利用が可能です。このPCエリアは学内諸学校との共通利用となっています。



PCコーナー



情報道場

情報メディア館開館時間

月～金：9：00～20：00

土：9：00～17：00

日：閉館

詳細は12ページ(裏表紙)の開館開室時間一覧をご覧ください。

秋学期からの情報環境（京田辺校地）について

情報処理実習教室	オープン利用環境
JM201～206	JM1階PCコーナー
JM301～306	ローム記念館PCエリア
JM404～406	TS101・102・201オープン利用室
TS301・302	KD101・102オープン利用室
	図書館 第二読書室
	図書館1階PCコーナー 図書館2階PCコーナー

情報メディア館のオープンに伴い、京田辺校地の情報環境が左表のとおり大幅に変更しています。また、次に挙げる教室はPCの利用ができなくなりました。

【利用停止】

● KD103～106、KDオープン利用室

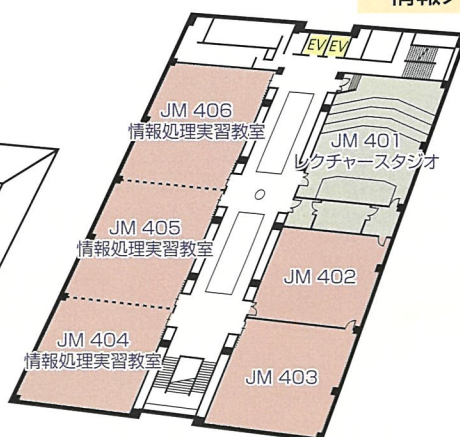
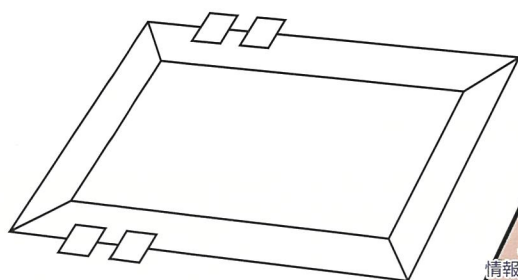
● TC1-106～108・132

※ 今出川校地のPC利用箇所については変更ありません。

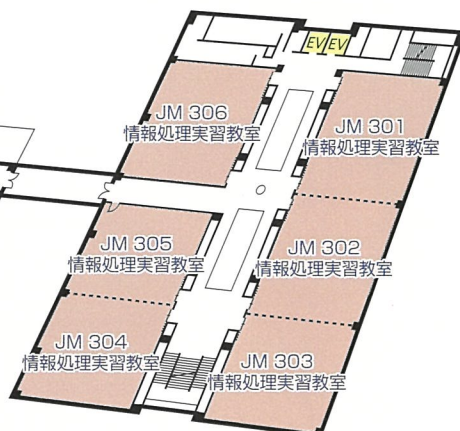
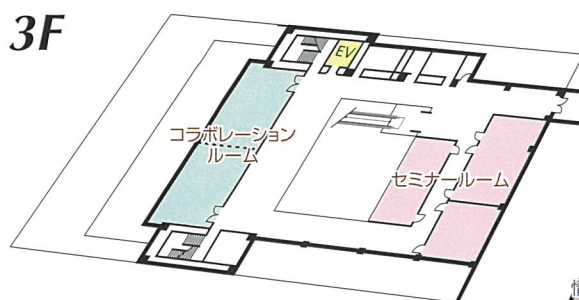
ローム記念館

情報メディア館

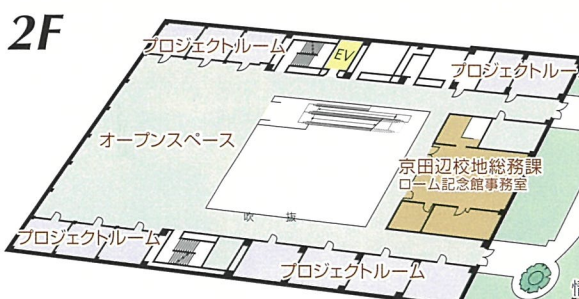
4F



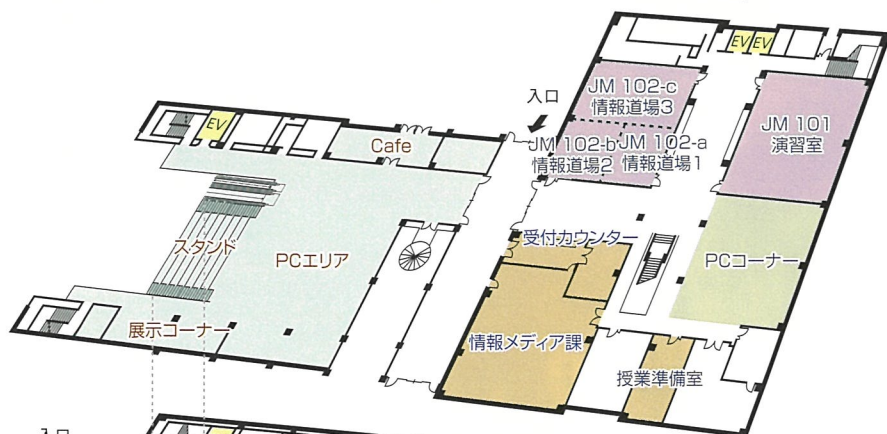
3F



2F



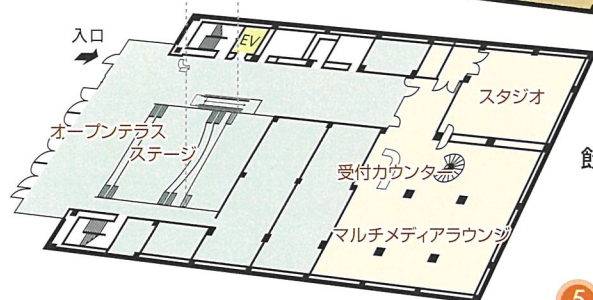
1F



京田辺情報メディア課が
移転しています

京田辺校地の情報メディア課は、9月22日(月)より須賀館(TS)1階から情報メディア館(JM)1階に移転しています。
情報メディア課ではプリント料金の加算手続や教室に設置されているPCの利用に関する相談に対応しています。

GF



飲食・喫煙の禁止

情報メディア館・ローム記念館の館内では飲食・喫煙を固く禁止します。

PCの利用環境を一斉更新しました

既存の情報処理実習教室・オープン利用環境に関しても、最新のシステムに一斉更新し、快適にPCを利用できる環境を整えています。今回のシステム一斉更新に伴い、利用環境が下記のとおり変更になっています。

情報環境利用についての詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/computer/index.html>

インストールソフトが新しくなりました

利用頻度の高い基本的なソフトのバージョンは以下のとおりです。

【OS】

WindowsXP Professional

RedHat Linux9 (WindowsXPとのデュアルブート)

【ワープロソフト、表計算ソフトなど】

OfficeXP Professional

(ローム記念館1階PCエリアのみOfficeXP Standard)

【Webブラウザ】

Internet Explorer 6.02 + SP1

Netscape Ver7.0.2

【プラグイン】

Flash Player 6.0r79

Shockwave Player Ver.8.5.1

MOドライブを導入しました

情報環境でMOディスクを利用できます。MOディスクとは、リムーバブルメディア（フロッピーディスクなどの持ち運び可能な記憶媒体）の1種です。なお、MOドライブの導入に伴い、ZIPドライブを撤去しました。ZIPディスクに保存されているデータを利用する際は、メディアコンバータPC等でMO、フロッピーディスクにデータを移行して利用してください。

【メディアコンバータPC設置箇所】

今出川校地：N1階オープン利用室

京田辺校地：JM1階PCコーナー

KD101オープン利用室

TS101オープン利用室

カラープリンタと印刷料金

カラープリンタを下記環境に導入しました。なお、カラープリンタの導入に伴い、印刷枚数の管理単位を「枚（枚数）」から「円（金額）」に変更しています。これは、下記表のとおりカラー印刷とモノクロ印刷とで1枚あたりの印刷料金が異なるためです。この単位変更を受け、無料印刷分年間300枚についても1枚4円として金額に換算し、「年間1,200円分まで印刷出力は無料」と表現を改めます。春学期に印刷した実績枚数に関しても同様に1枚4円として金額換算しています。

なお、ローム記念館マルチメディアラウンジのカラープリンタを利用する際は、生協プリペイドカードでの料金支払となり、無料印刷分は適応されませんのでご注意ください。

【カラープリンタ設置場所】

今出川校地：N1階オープン利用室

京田辺校地：JM1階PCコーナー

【印刷料金について】

モノクロ出力：出力枚数 × 4円

カラー（A4）出力：出力枚数 × 40円

カラー（B4）出力：出力枚数 × 60円

カラー（A3）出力：出力枚数 × 80円

※両面印刷の場合は、出力用紙1枚につき「出力枚数」は2枚となります。

情報環境利用上の注意

1. 学内の情報環境は教育研究における利用を目的として整備しています。ゲームや個人的趣味、商業活動での利用は禁止します。
2. 飲食・喫煙を禁止します。また、携帯電話・PHSは電源を切るかマナーモードに設定し、電話を利用する際は部屋の外で利用してください。
3. 安定した利用環境を提供するため、ユーザによるソフトウェアのインストール、PCの設定変更などは禁止します。
4. 席を外す際は、必ずPCをシャットダウンしてください。ログオンしたまま席を離れると、セキュリティ上非常に危険です。また、他の利用希望者に迷惑がかかります。
5. ユーザID、パスワードは各自で責任を持ち、厳重に管理してください。

ネットワークシステムのリプレース

使いやすく、安心して利用できるネットワークサービスをめざして

2003年8月にネットワークシステムの更新（リプレース）を行いました。今回のリプレースは1995年に全学ネットワークを整備して以来の規模となるもので、ネットワークを構成するサーバ群や機器類だけでなく、各建屋間を結ぶ配線やルートも更新しています。これにより将来の高速化・大容量化を見据えたネットワーク基盤の強化が可能となり、先行整備されていたインターネットとの接続（※）にも十分対応できる環境が整いました。

※ インターネットとの接続

大学ネットワークとインターネットとの接続点のひとつとして、本学は「スーパーSINET」に通信速度1Gbpsで接続しています。「スーパーSINET」は、国立情報学研究所が運営するネットワークで、先端の学術研究の中心的な研究機関を超高速・広帯域で接続しています。これにより、インターネットとの接続にも十分な帯域を確保しています。

スーパーSINETにおける同志社大学の位置付けは、下記ホームページをごらんください。

学術情報ネットワーク（スーパーSINET/SINET）構成図
http://www.sinet.ad.jp/sinet/sinet_kaisen_chizu_1.htm

ネットワークシステムリプレースのポイント

ネットワークシステム更新のポイントは次の3点です。

より使いやすいサービスの提供

Internet Explorer やNetscapeなどのブラウザと、インターネット接続環境があればどこからでもメールができるwebmail（Active! mail 2003）サービスの機能強化で、学外からの利用が一層便利になりました。

<http://webmail.doshisha.ac.jp/>

● 各種携帯電話でメールの利用ができます

これまでのi-modeに加え J-sky、Ezweb、PDAからも利用ができます。Web機能を使って携帯機器用に最適化された操作画面からメールの送受信が可能です。ただし、パケット通信料が課金されますのでご了承ください。



● 携帯電話へのメール転送がより使いやすく

携帯電話へのメール転送機能も用意されています。お使用の携帯電話の制限に合わせ、転送するメール1件あたりの文字数や何ページ分まで設定するかの指定が可能となっています。

メールサービスの拡充にあわせて、各自がメールサーバに保存できるメールの容量も拡大しています。また、新しいサービスの展開として、無線LAN環境を京田辺校地の一部エリアに導入しています。

より安心して利用できる環境の提供

ウィルスチェック機能は、これまでメールサービスのみの展開でしたが、プロキシを利用したweb参照時にもウィルスチェックが作動します。さらに、不正アクセス監視装置も今回導入し、学内ネットワークへの学外からの不正侵入の防御に努めています。

品質の向上

安定したサービスの提供を実現するため、サーバの単体性能向上はもとより、万一の障害があっても代替機が作動するような仕組みや負荷分散機能を導入しています。

なお、ネットワークサービスの利用については、ホームページにてご案内しておりますので、ご覧ください。

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/network/index.html>

所蔵資料紹介 : *Les Français peints par eux-mêmes : encyclopédie morale du dix-neuvième siècle* (『フランス人の自画像 —19世紀風俗百科—』)

1. 19世紀のパリ — モダン都市パリ —

産業革命に伴い、19世紀のフランス、とりわけパリは目覚ましい発展を遂げていました。蒸気機関の船や列車が普及しはじめ、街にはガス灯がとまりました。上流貴族は流行のファッションをまもってはオペラ座へと集い、パリで生まれたモードは地方へと飛び火して憧れの的となったのです。モードの発信地・パリへの人口集中は止むことなく、常にさまざまな人々と新しい話題で溢れかえっていました。

一方で、19世紀は報道に大きな変化を迎えた時期でもありました。「1814年の憲章」により報道は厳しい監視の目から解放され、日刊新聞など大衆を相手にした多くのメディアが登場しました。そして、印刷術の進歩により大量に刷られるようになった新聞や雑誌は、モダン都市パリの風景や流行、風俗など、その日その時の目新しい話題を詰め込んで世間をにぎわせていました。新聞の連載小説を読んだり、女性がファッション誌に夢中になったり、ゴシップ誌に好奇心をくすぐられたりという原型はこの時代に形づくられたのです。

2. 『フランス人の自画像』

— 最大にして最高の風俗観察文集 —

なかでも、*Les Français peints par eux-mêmes : encyclopédie morale du dix-neuvième siècle* (『フランス人の自画像 —19世紀風俗百科—』) は、当時の社会風俗を描写することを目的として、1839年末から1842年にわたり高級挿絵本の出版社キュメール社により刊行されました。全9巻の中には、学生・貴婦人・警察・レスラー・徒囚など様々な階層や職業の人々の人物典型が挿絵と共に記されています。当時は、10ページ弱のテキスト(本文)に別刷りの挿絵が1枚ついたセットでパリ編・地方編毎週各1部ずつ配本されました。合計422冊にも及んだものを持ち主が後で自分の趣味・嗜好に合わせて製本したのです。

バルザック、ノディエ、ゴーティエらの作家によるテキストは、時に辛辣ながらも精彩に富んでおり、網羅的かつ体系的に当時の風俗を語ります。さらに、挿絵を手がけたガヴァルニ、グランヴィル、ドーミエら画家の腕のよさもさることながら、彫り師・刷り師・彩色工の技術から顔料・高級紙の



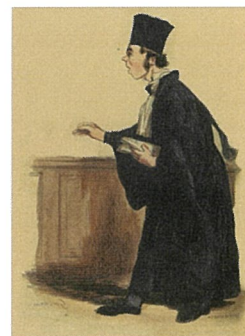
品質にいたるまで、いずれ劣らぬすばらしさなのです。これが、19世紀に刊行された最大にして最高の風俗観察文集とされるゆえなのでしょう。

3. 弁護士より優雅な代訴人

では『フランス人の自画像』の中で当時の人々はどうのように紹介されていたのでしょうか？ 弁護士を例に見てみましょう。ここにあげたのは弁護士と代訴人の挿絵です。



代訴人 (第1巻)



弁護士 (第2巻)

当時のフランスでは、現在の弁護士の仕事を、職域によって弁護士と代訴人が分けて担っていました。法廷での弁論は弁護士が、訴訟手続は代訴人が行っていたのです。さて、どちらが儲かっていたのでしょうか？

それは、両者の挿絵にもあらわれています。弁護士は黒くめの法服で弁論をしている姿ですが、かたや代訴人は美しく高級そうなガウンをまとっています。

というのも、代訴人がより多くの依頼を受けるためには、優雅で裕福な雰囲気をかもし出す必要があったからです。代訴人は面談に訪れる訴訟依頼者を自らの書斎でもてなします。依頼者が書斎の扉を開けると、贅を尽くした書斎の中に美し

関連する本学所蔵資料 ~機会があればあわせて読んでみてください~

『フランス人の自画像』について ④『職業別パリ風俗』 両校地区図書館開架 382.35 K586
19世紀パリのメディアについて ④『メディア都市パリ』 今出川図書館開架 235.06 Y2

所蔵：ラーネッド記念図書館書庫

請求記号：	本編（パリ編）全5巻	382.35	F9557	1：1～1：5
	Province（地方編）全3巻	382.35	F9557	2：1～2：3
	Prisme（付録）1巻	382.35	F9557	S



名流夫人（第1巻）



ダンディー（第3巻）



法学部の学生（第1巻）



レスラー（Province第1巻）



乳母（第1巻）

いガウンを着た代訴人がおだやかに座っているのです。依頼者はその雰囲気には幻惑され、代訴人の人当たりのよさからすっかり信頼を寄せてしまいます。本書の中にも「贅沢な書斎は、代訴人が依頼者と出会うのを助ける」（アルタロッシュ）と記されています。こうして依頼者の信頼を得た代訴人は、複雑な訴訟手続をして多くの手数料を請求し、財をなしていきましました。

一方、弁護士はというと、それなりの収入はあったものの、身を立てていくにはなかなか大変だったようで、その様子は『パール・ゴリオ』で法科大学生ラスティニャックに対して、悪党ヴォートランが語る台詞からも伺えます。

「ラスティニャック男爵殿は弁護士がご希望かね？いいだろう。それにはまず、十年間食うや食わずの生活をしながら、いっぽうでは毎月1000フランも浪費し、立派な書庫と事務室まで設けてなければならない。それから社交界に顔を出し、訴訟を回してもらうために代訴人の部屋着の裾にキスして、裁判所の床をなめなきゃならん。」（鹿島茂訳『パール・ゴリオ』[バルザック「人間喜劇」セクション第1巻]【今出川図書館開架 953 B283 1】）

ここから、代訴人に媚を売り、這いつくばるようにして仕事をしていた弁護士の姿が見てとれます。

4. 本学所蔵の特装版について

『フランス人の自画像』には、白黒版と手彩色版とがあります。その手彩色版にも、単に手彩色しただけのものと、色彩が変色しないよう特別にゴム糊の上塗りを施したものとの2種類があり、本学所蔵の資料は後者です。

また、先に記しましたように本書は持ち主が製本している

ため、「持ち主仕様」に仕上げられています。つまり、表紙を省いてしまっていたり、自分の趣味や信条にあわない部分は取り除いてしまったり、といった具合です。とりわけ、反ナポレオン主義者が持ち主だった場合は、ナポレオンの肖像画を取り除いてしまっている場合もあるのです。このように、最初に装丁した持ち主の違いによって、少しずつ異なったいろいろな『フランス人の自画像』が生まれることとなりました。なお、本学所蔵資料の持ち主は、とりたてて政治的思想を持っていなかったのか、几帳面だったのか、表紙もナポレオンの肖像画も入れたままで装丁しているようです。



ナポレオン（第5巻）

人間百科ともいえる『フランス人の自画像』を通して、19世紀フランスの彩なす社会風俗と人間模様を、みなさんも是非一度のぞいてみてください。

※ 禁帯出図書のため、館外貸出はできませんが図書館内で閲覧できます。ラーネッド記念図書館のメインカウンターへお申し出ください。

メディアにみる19世紀フランス文化について

『19世紀フランス愛・恐怖・群衆—挿絵入新聞「イリュストラシオン」にたどる』

19世紀文学にみる服飾について 『バルザック「人間喜劇」ハンドブック』

両校地区図書館開架 235.065 O369

今出川図書館開架 953 B283 S1

マルチメディア・ライブラリーのPCを リプレイスしました！

マルチメディア・ライブラリー〔今出川図書館地階／ラーネッド記念図書館1階〕の
パソコンを各校地8台、計16台リニューアルしました。

<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/library/media/index.html>

■ 最新のパソコンにリニューアルしました

(OSをWindowsXP Professionalに変更)

スペックが格段に向上し、マルチメディア資料の検索や画像・動画等の表示がスムーズになりました。

■ DVD資料にも対応できます

DVD-ROM装置を備え、大容量のデータベース資料にも対応可能となりました。

■ MO装置を標準搭載しました

FDでは容量不足で保存することができなかった検索結果も、MOなら640MBまで保存することが可能です。

※データには著作権があります。保存可能なデータは、利用説明書等に記載されている範囲に限定されますのでご注意ください。

■ 一部の資料についてCD-ROMの入れ替えの手間を軽減するように設定しました

*『明治・大正・昭和の読売新聞』【請求記号：PRM 161】
(今出川図書館のみ)

PCのハードディスクにCD-ROMのデータを格納することにより、十数枚に及ぶデータのCD-ROMの請求は不要となり、索引のCD-ROM1枚のみの請求で閲覧できるようになりました。下記のブースでそれぞれ利用できます。

- 明治の読売新聞 : X1ブース
- 大正の読売新聞 : X2ブース
- 昭和の読売新聞戦前1 : X3ブース



利用できる主な CD-ROM

およそ170種類のCD-ROMが利用できます。利用頻度の高いCD-ROMの一部をご紹介します。

請求記号等	データベース	内 容	今出川	京田辺
学内LAN	判例体系 CD-ROM	裁判年月日やキーワード等から検索可。判例要旨・本文・裁判所等収録。1953～。	○	○
学内LAN	法律判例文献情報	書籍・雑誌・紀要・判例情報誌から法律文献情報・判例情報・発行所案内を収録。1982～。	○	○
学内LAN	朝日新聞戦後見出しデータベース	朝日新聞縮刷版1945年～1995年の記事見出しについての検索が可能。	○	○
PRM 24	Ulrich's On Disc	出版社R.R.Bowkerが作成した世界の逐次刊行物の出版目録。最新刊行情報を見ることができる。年四回更新。	○	○
RM 63	国歌大観	『新編国歌大観』全10巻1162集の歌集本文(約45万首の和歌を収録)と解題。句検索、語彙検索(ア、和歌、イ、和歌以外)、歌集・歌番号検索、勅撰集作者検索が可能。	○	○
RM 161	明治・大正・昭和の読売新聞	1874年(明治7年11月2日)の創刊号から1936年(昭和11年12月31日)までの紙面を年号ごとにデータベース化。	○	
RM939 A9427	American poetry	植民地時代から20世紀初頭までの米国の200人以上の詩人による詩を40,000件以上フルテキストで提供。	○	
PRM 59	Current contents. Life sciences	生命科学関連の雑誌約1360誌の目次情報をカバー。		○
PRM 9	Current contents. Physical, chemical & earth sciences	物理学・化学・地球科学関連の雑誌約1060誌の目次情報をカバー。		○

CD-ROM所蔵一覧(http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/library/media/cd_rom2.html)やDOORS を参照し、皆さんの学習に役立ててください。また利用方法等ご不明な点がございましたら、マルチメディア・ライブラリー内の補助員にお気軽にお尋ねください。

今出川図書館の改修について

■ 特別利用室

今出川図書館では、夏期休暇中に館内施設の改修工事を行いました。これまで機能別に独立した部屋となっていた2階の特別利用室（点字室・対面朗読室・拡大読書室）を全面改装し、スペースの共用および実際の利用形態に沿った機器配置を行いました。

新しい点字室は、PC環境と拡大読書器、点字タイプライターを配置しています。また、点字資料（『週刊点字毎日』および辞書類）もこの部屋に配架しています。これにより、より効率的な利用が可能となりました。対面朗読室も以前より広く、ゆったりとした明るい雰囲気になっています。

いずれの利用室も、図書館閉館30分前まで利用できます。利用にあたっては、メインカウンターで申し込んでください。

■ 電動リフトの設置

昨年度に引き続き、図書館玄関から地階（第1・2閲覧室およびマルチメディアライブラリ）へ行くための電動リフトを設置します。操作は既存機器と同じです。気軽にフロントの係員に声をかけてください。

リフト設置に伴い、掲示板の位置が一部変わります。フロントから地階へ行く階段脇にあった掲示板は、第1閲覧室入口横およびマルチメディアライブラリ入口横の壁面に移ります。



総合情報センター利用上の注意

- * センターから利用者のみなさんへの広報・連絡は掲示およびホームページで行います。
<http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/index.html>
- * 学生証・総合情報センター利用カードの不正使用、資料の又貸しや無断持ち出しは禁止します。
- * センター施設内での飲食や指定の場所以外での喫煙は禁止します。
- * 携帯電話・PHSの使用は禁止します。入館・入室時には電源を切ってください。
- * センター内では談笑や他の利用者の迷惑になるような行為は慎んでください。
- * センター内の設備、機器、資料は大切に取扱ってください。

■ 手荷物などの管理について

- 手荷物は各自でしっかり管理してください。特に、財布や携帯電話などは注意してください。
- カバンのフタは確実に閉め、フタのない場合は、ハンカチなどで中が見えないように覆うなど工夫しましょう。
- やむを得ず席を離れる場合は、貴重品は必ず携帯してください。
- 荷物等を置いたまま、長時間席を離れないようにしてください。
- 荷物や持ち物を紛失した場合、あるいは拾得した場合は、すぐにカウンターにお申し出ください。

■ 著作権について

センターが所蔵・提供している資料や情報は、利用者が著作権法の定める事項を遵守することを条件に利用に供するものです。図書館係員が作業の内容を確認することがありますのでご了承ください。

（著作権についての詳細は文化庁のホームページを参照してください。 <http://www.bunka.go.jp/>）

図書館内に設置している複写機で複写できるもの（著作権法第31条 図書館等における複製）

- ※ 対象：図書館等が所蔵している図書、記録、その他の資料
- ※ 目的：利用者の調査研究
- ※ 部数：ひとりにつき1部のみ
- ※ 分量：公表された著作物の一部分
（全体の半分以上なら可。発行後相当期間を経過した雑誌であれば、当該論文全部を複写することも可能）

複写できないもの

- ※ 雑誌の最新号
- ※ ノートや個人所有の資料、他の図書館の資料など

2003年度 総合情報センター開館開室時間一覧（秋学期）

※ 京田辺校地情報メディア施設（情報メディア館・ローム記念館）開設に伴い、京田辺校地の情報環境に変更があります（水色部分）。

※ ラーネット記念図書館は2004/3/8～13は蔵書点検です。詳細は館内掲示、ホームページなどでお知らせします。

京田辺校地		● 講義・補講・試験期間			■ 休講・休暇期間		▲ 開講準備期間	
		月～金	土	日	月～金	土	月～金	土
図書館	開架閲覧室（2・3階）・参考図書・雑誌室（2階）	9:00～20:00	9:00～16:00	10:00～17:00	9:00～17:00	9:00～12:00	9:00～20:00	9:00～16:00
	第1読書室（1階）		9:00～17:00		—	—		9:00～17:00
	マルチメディアライブラリー（1階）			—				
	書庫入庫	9:00～19:40	9:00～15:40		9:00～16:40	9:00～11:40	9:00～19:40	9:00～15:40
	共同閲覧室・対面朗読室・点字室（2階）							
	貸出・返却・予約	9:00～19:40	9:00～15:40	10:00～16:40	9:00～16:40	9:00～11:40	9:00～19:40	9:00～15:40
	レファレンスカウンター	10:00～11:30 12:30～19:00	10:00～12:00 13:00～15:00	—	10:00～11:30 12:30～16:00	10:00～12:00	10:00～11:30 12:30～19:00	10:00～12:00 13:00～15:00
情報環境	情報処理 実習教室	情報メディア館 (JM201～206、JM301～306)	9:00～20:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～20:00	9:00～17:00
		情報メディア館 (JM404～406)	9:00～17:00	9:00～12:00	—	—	—	—
		顕真館 (TS301・302)						
	オープン 利用環境	情報メディア館 PCコーナー (1階)	9:00～20:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～20:00	9:00～17:00
		顕真館 (TS101・102・201)	9:00～17:00	—	—	—	—	—
		恵道館 (KD101・102)						
		図書館 第2読書室(1階)	9:00～19:40	9:00～15:40	—	—	9:00～19:40	9:00～15:40
		図書館 PCコーナー(1階)	9:00～19:40	9:00～15:40	9:00～16:40	9:00～11:40	9:00～19:40	9:00～15:40
		図書館 PCコーナー(2階)	9:00～19:40	9:00～15:40	10:00～16:40	9:00～11:40	9:00～19:40	9:00～15:40
		ローム記念館 PCエリア	9:00～20:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～20:00	9:00～17:00
	マルチメディア 利用環境	ローム記念館	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～17:00		9:00～19:00	9:00～17:00
		マルチメディアラウンジ						
	情報メディア館 情報メディア課 窓口		9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	—	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00

今出川校地（春学期との変更はありません）			● 講義・補講・試験期間			■ 休講・休暇期間		▲ 開講準備期間	
			月～金	土	日	月～金	土	月～金	土
図書館	開架閲覧室・参考図書室・雑誌室（1階）		9:00～22:00		10:00～17:00	9:00～22:00		9:00～22:00	
	第3・4・5閲覧室（2階）								
	第1・2閲覧室（地階）		9:00～21:30		10:00～16:30	9:00～21:30		9:00～21:30	
	マルチメディアライブラリー・								
	EU資料センター（地階）								
	グループ学習室・								
	点字・拡大読書室・対面朗読室（2階）								
	貸出・返却・予約		9:00～21:00		10:00～16:00	9:00～21:00		9:00～21:00	
	開架書庫入庫								
開架資料出納		10:00～11:30 12:30～21:00	10:00～12:00 13:00～21:00	10:00～12:00 13:00～16:00	10:00～11:30 12:30～21:00	10:00～12:00 13:00～21:00	10:00～11:30 12:30～21:00	10:00～12:00 13:00～21:00	
レファレンスカウンター		10:00～11:30 12:30～19:00	10:00～12:00 13:00～16:00	— —	10:00～11:30 12:30～17:00	10:00～12:00 13:00～16:00	10:00～11:30 12:30～17:00	10:00～12:00 13:00～16:00	
情報環境	情報処理 実習教室	寧静館（N21～23）	9:00～22:00		—	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～19:00	9:00～17:00
		寧静館（N地1～3）	9:00～19:00	9:00～12:00		—	—	—	—
		弘風館（K21）	9:00～17:00						
	オープン 利用環境	寧静館（1階）	9:00～22:00		—	9:00～19:00	9:00～17:00	9:00～19:00	9:00～17:00
		尋真館（1階）	10:00～17:00	—		10:00～17:00	—	10:00～17:00	—
		図書館 PCコーナー（1階）	9:00～21:30			10:00～16:30	9:00～21:30		9:00～21:30
	寧静館 情報システム室 窓口		9:00～11:30 12:30～17:00 18:00～21:45	9:00～12:00 13:00～17:00 18:00～21:45	—	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:00
	寧静館 メディア工房		9:00～17:00	9:00～12:00	—	9:00～17:00	9:00～12:00	9:00～17:00	9:00～12:00

●● 講義期間：9/29～12/24、2004/1/7～20 補講期間：2004/1/21～23 試験期間：2004/1/24～2/17

■ 休講期間：11/1、11/25～28 休暇期間：12/26～27、2004/2/18～3月下旬

▲ 開講準備期間：新学期開始の準備（登録袋配付、科目登録など）の期間。3月下旬から4月授業開始まで。

休館・休室日：日曜・祝祭日・振替休日 11/29（創立記念日）、12/25（キリスト降誕日）、12/28～2004/1/6

注：両校地図書館は、講義・補講・試験期間の日曜日は開館しています。

同志社大学 総合情報センター報 No. 26 2003年9月26日発行

編集・発行：同志社大学総合情報センター

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL：075-251-3960 E-mail：ji-gakjo@mail.doshisha.ac.jp

http://www.doshisha.ac.jp/gakujo/index.html